

スコアシート		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質・性能</b>						<b>2.9</b>
<b>Q-1 室内環境</b>			0.40			<b>3.3</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.20		-	<b>3.0</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>3.0</b>	0.77		-	
1 暗騒音レベル		3.0	1.00		-	
<b>1.2 遮音</b>		<b>3.0</b>	0.16		-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-	
<b>1.3 吸音</b>		<b>3.0</b>	0.08		-	
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.9</b>	0.40		-	<b>2.9</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>2.8</b>	0.50		-	
1 室温設定		3.0	0.30		-	
3 外皮性能		2.0	0.20		-	
4 ゾーン別制御性		3.0	0.50		-	
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>3.0</b>	0.20		-	
<b>2.3 空調方式</b>		<b>3.0</b>	0.30		-	
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.8</b>	0.10		-	<b>2.8</b>
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>3.0</b>	0.30		-	
1 昼光率		3.0	0.60		-	
2 方位別開口			-		-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40		-	
<b>3.2 グレア対策</b>		<b>3.0</b>	0.30		-	
2 昼光制御		3.0	1.00		-	
<b>3.3 照度</b>		<b>2.0</b>	0.15		-	
1 照度		2.0	1.00		-	
<b>3.4 照明制御</b>		<b>3.0</b>	0.25		-	
<b>4 空気質環境</b>		<b>4.3</b>	0.30		-	<b>4.3</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>5.0</b>	0.50		-	
1 化学汚染物質		5.0	1.00		-	
F☆☆☆☆をほぼ全面に使用			-		-	
<b>4.2 換気</b>		<b>3.4</b>	0.30		-	
1 換気量		3.0	0.43		-	
2 自然換気性能		3.0	0.13		-	
3 取り入れ外気への配慮		4.0	0.43		-	
外気取り入れ口を排気口から6m以上離して設置			-		-	
<b>4.3 運用管理</b>		<b>4.0</b>	0.20		-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御		5.0	0.50		-	
喫煙スペースの設置			-		-	
<b>Q-2 サービス性能</b>		-	0.30		-	<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.5</b>	0.40		-	<b>2.5</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>3.0</b>	0.60		-	
1 広さ・収納性		3.0	0.13		-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.13		-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.74		-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>1.9</b>	0.40		-	
1 広さ感・景観		4.0	0.13		-	
2 リフレッシュスペース		5.0	0.13		-	
3 内装計画		1.0	0.74		-	
天井高が2.7m以上(事務所) リフレッシュスペース、自動販売機の設置(事務所)			-		-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.0</b>	0.31		-	<b>3.0</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48		-	
1 耐震性		3.0	0.80		-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>3.0</b>	0.33		-	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.29		-	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.12		-	
3 配管・配線材の更新必要間隔		3.0	0.29		-	
4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29		-	
<b>2.3 適切な更新</b>			-		-	
1 外壁・屋根・外装仕上げ材の更新			-		-	
2 内装仕上げ材の更新			-		-	
3 配管・配線材の更新			-		-	
4 主要設備機器の更新			-		-	
<b>2.4 信頼性</b>		<b>3.0</b>	0.19		-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3 電気設備		3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-	

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.7</b>	0.29		-	3.7
3.1 空間のゆとり			<b>4.0</b>	0.31		-	
1 階高のゆとり		階高が3.8m以上(事務所)	4.0	0.23		-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率:事務所0.269、集会所0.2056	4.0	0.77		-	
3.2 荷重のゆとり		床積載荷重3500N/m <sup>2</sup>	<b>4.0</b>	0.31		-	
3.3 設備の更新性			<b>3.4</b>	0.38		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.17		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.17		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.11		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.11		-	
5 設備機器の更新性		更新時に建物機能の維持が可能	5.0	0.22		-	
6 バックアップスペース			3.0	0.22		-	
<b>Q-3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30		-	<b>2.2</b>
1 生物環境の保全と創出			<b>1.0</b>	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			<b>3.0</b>	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			<b>2.5</b>	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							<b>3.6</b>
<b>LR-1 エネルギー</b>			-	0.40		-	<b>4.1</b>
1 建物の熱負荷抑制		複層ガラスの採用	4.6	0.43		-	4.6
2 自然エネルギー利用			<b>4.0</b>	0.29		-	4.0
2.1 自然エネルギーの直接利用		クールビットの設置	4.0	0.50		-	
2.2 自然エネルギーの変換利用		太陽光発電の設置	4.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化			-	-		-	-
4 効率的運用			<b>3.5</b>	0.29		-	3.5
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制		建物の運用・維持・保全の方針を計画	4.0	0.50		-	
<b>LR-2 資源・マテリアル</b>			-	0.30		-	<b>3.5</b>
1 水資源保護			<b>3.4</b>	0.15		-	3.4
1.1 節水		節水型便器の採用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60		-	
1		雨水利用システム	3.0	0.67		-	
2		雑排水利用システム	3.0	0.33		-	
2 低環境負荷材			<b>3.5</b>	0.85		-	3.5
2.1 資源の再利用効率			<b>3.6</b>	0.35		-	
1		躯体材料の再利用効率	5.0	0.67		-	
2		非構造材料の再利用効率	1.0	0.33		-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.04		-	
2.3 有害物質を含まない材料			3.0	0.08		-	
2.4 既存建築躯体などの再利用			3.0	0.18		-	
2.5 部材の再利用可能性		コンクリート下地+ボード貼り	4.0	0.18		-	
2.6 フロン・ハロンの回避			4.0	0.18		-	
1		消火剤	4.0	0.33		-	
2		断熱材	5.0	0.33		-	
3		冷媒	3.0	0.33		-	
<b>LR-3 敷地外環境</b>			-	0.30		-	<b>3.0</b>
1 大気汚染防止		ガス、ばいじんの発生が大幅に抑えられている	4.0	0.15		-	4.0
2 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.15		-	3.0
2.1 騒音			3.0	1.00		-	
2.2 振動			-	-		-	
2.3 悪臭			-	-		-	
3 風害、日照障害の抑制			3.0	0.15		-	3.0
3.1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
3.2 日照障害の抑制			3.0	0.30		-	
4 光害の抑制		「光害対策ガイドライン」を満たしている	5.0	0.10		-	5.0
5 温熱環境悪化の改善			2.0	0.30		-	2.0
6 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.15		-	3.0
6.1 雨水処理負荷抑制			-	-		-	
6.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33		-	
6.3 交通負荷抑制			3.0	0.33		-	
6.4 廃棄物処理負荷			3.0	0.33		-	

■ LR-1 用途別得点表		集会所	事務所	-	-	面積按分
		3964 m <sup>2</sup>	2536 m <sup>2</sup>	-	-	総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	4.0	4.0	-	-	4.0
3	設備システムのERRによる評価	データ未入力	データ未入力	-	-	0.0
	高効率化 個別設備による評価	-	-	-	-	
3.1	空調設備	5.0	3.0	-	-	-
3.2	換気設備	5.0	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	5.0	-	-	-
3.4	給湯設備	3.0	4.0	-	-	-
3.5	昇降機設備	-	-	-	-	-